

2018年5月8日

クールジャパン機構

(株式会社海外需要開拓支援機構)

## ヘルスケア・先端テクノロジー分野を中心に 世界で活躍できるベンチャー企業の創出・育成を目指すファンドへLP出資

クールジャパン機構は、ヘルスケア・先端テクノロジー分野を中心に、主に国立大学法人京都大学（以下、京大）をはじめとする国内外の大学や研究機関と連携し、優れた研究開発成果を利活用するベンチャー企業に対する出資・経営支援を行う「みやこキャピタル株式会社（以下、みやこキャピタル）」が組成・運営するファンド「みやこ京大イノベーション投資事業有限責任組合（以下、本ファンド）」に対し、10億円を上限とするLP出資を決定しました。

クールジャパン機構は本ファンドを通じ、事業資金が不足しがちと言われる同分野のベンチャー企業に対し、海外展開等、本格的かつ機動的な事業展開に向けたリスクマネーを供給し、世界で活躍できるベンチャー企業を創出・育成することを目指します。

みやこキャピタルは、主に京大をはじめとする国内外の大学や研究機関と連携し、再生医療、医療機器、AI・IoT、化学・素材関連等のヘルスケア・先端テクノロジー分野で優れた研究開発成果を利活用するベンチャー企業に対する出資・経営支援を行うベンチャーキャピタルです。2015年11月にメガバンク、地域金融機関等の機関投資家、事業会社、個人投資家からの出資を受けて本ファンドを設立し、これまでに本ファンドを通じて、国内外のベンチャー企業17社に対する投資実績を有しています。

優れた研究開発成果を有するベンチャー企業が成功するためには、最先端の製品・サービスの提供を通じ、国内及び旺盛な海外需要を取り込む必要がありますが、ヘルスケア・先端テクノロジー分野は日本が世界トップレベルの研究開発実績を誇る分野でありながら事業資金が不足がちであると言われており、事業化・実用化及びその後の海外も含めた本格的な事業展開には課題を抱えています。

特に海外事業については、「アジア健康構想に向けた基本方針」（2016年7月、健康・医療戦略推進本部決定）においても、日本の事業者等の市場をアジアに拡大すべく資金調達を円滑化する必要性が謳われており<sup>1</sup>、当機構でも同分野を投資対象の一つとして取り組んできました。

クールジャパン機構は、ヘルスケア・先端テクノロジー分野において優れた研究開発成果を有するベンチャー企業に対し、海外展開等、本格的かつ機動的な事業展開に向けたリスクマネーを供給するため、本ファンドの追加資金調達にて、10億円を上限とするLP出資を決定しました。当機構の他、事業会社等が出資し、本ファンドの運用総額は約73億円になります。

クールジャパン機構は、みやこキャピタルの強力なネットワークをベースに、本ファンドを通じ、ヘルスケア・先端テクノロジー分野において世界で活躍できる日本のベンチャー企業を創出・育成するとともに、日本ブランドのプレゼンスを高めることにより、同産業の発展に貢献してまいります。

---

#### [みやこ京大イノベーション投資事業有限責任組合について]

組成日	2015年11月
無限責任組合員（GP）	みやこキャピタル株式会社
運用総額	約73億円
運用期間	2024年12月末まで（10年間）

#### [みやこキャピタル株式会社について]

設立	2013年9月
所在地	京都市左京区（京都大学内）
代表取締役	山口 哲史、菅谷 常三郎、岡橋 寛明
事業内容	ベンチャーキャピタル事業
ホームページ	<a href="http://www.miyakocapital.com/">http://www.miyakocapital.com/</a>

---

<sup>1</sup> 「JICAの海外投融资、フィジビリティスタディ支援、(株)海外需要開拓支援機構（クールジャパン機構）による出資、(株)国際協力銀行（JBIC）による融資等の積極的な活用促進により具体的事例を創出することを通じ、必要な課題を見出し、対応を行うことと、介護関連等、アジア健康構想の推進に資する海外事業の資金調達を円滑化する」（「アジア健康構想に向けた基本方針」（2016年7月より抜粋）

(参考)

ヘルスケア・先端テクノロジー分野を中心に  
世界で活躍できるベンチャー企業の創出を目指すファンドへLP出資

[本ファンドのスキーム]

